

NIKKO TOWNSCAPE GUIDLINE

日光市街並形成ガイドライン

平成22年3月
日光市

◆はじめに ～街並形成ガイドライン策定の背景と目的～

日光市では、平成20年3月に景観法に基づき、『日光市景観計画』を策定しました。日光市景観計画は、本市における景観形成の基本的かつ総合的な考え方を示したものであり、良好な景観の形成を実現するための基本姿勢や景観形成方針、行為の制限などが、地域やゾーン毎に定められています。

今後は、日光市景観計画の下、“国際観光文化都市”としての魅力をより高めるため、日光市の多様な地域特性を活かした個性ある美しい景観づくりに取り組んでいく必要があります。

良好な景観を形成する上では、地域の皆さんがその地域の特性や“らしさ”を十分に理解し、個々の建物等が周辺環境や地域の個性にふさわしい魅力を備えていることが重要です。

そこで、今回、市内6地区について『日光市街並形成ガイドライン』を策定しました。

このガイドラインは、地域の皆さんの「景観まちづくりの手引き」として、建築物や工作物、広告物などをつくる際に、周辺環境に対して配慮すべき事項を、写真や図を用いて示しています。

内容については、地区の方々と意見交換を重ねながら作成したものであり、法的な強制力を持つものではありません。

今後は、このガイドラインを通じて、多くの方々の景観まちづくりへの関心が高まることを期待するとともに、建物や看板、照明などをつくる際には、各地区のガイドラインの内容を参考にして、より良い景観まちづくりにご協力いただきたいと思います。

平成22年3月

【目 次】

1	日光市街並形成ガイドラインの位置付け	1
2	日光市街並形成ガイドラインの構成と見かた	2
3	日光市街並形成ガイドライン	3
	全地区共通	4
	今市市街地地区	14
	日光市街地地区	24
	鬼怒川温泉地区	36
	川治温泉地区	44
	足尾地区	52
	湯西川温泉地区	60

1 日光市街並形成ガイドラインの位置付け

日光市総合計画（平成20年3月）

四季の彩りに 風薫る ひかりの郷

～自然と歴史と産業が響き合う ころ豊かな輝く未来へ～

日光市のまちづくりの基本的な指針となる計画です。

日光市景観計画（平成20年3月）

【景観に対しての基本姿勢】

- 歴史・文化や自然環境を活かした景観づくり
- 観るけしきから感じるけしきづくり

日光市の景観形成における基本的な指針となる計画です。

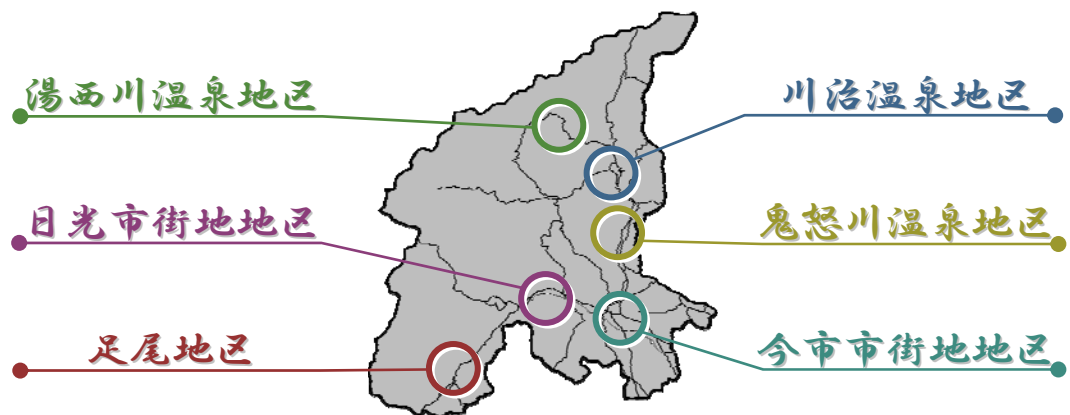
日光市街並形成ガイドライン（平成22年3月）

【日光市街並形成ガイドラインとは？】

→地域の皆さんの『景観まちづくりの手引き』となるものです。

【どんな内容？】

- 日光市全体の景観形成において、最低限配慮していきたい項目や共通で大切にしていきたい項目をまとめています。
- 日光市内の6地区（※下図参照）について、多様な地域特性を活かした、個性ある美しい景観づくりを実現するための項目をまとめています。



→日光市全体及び各地区で、

『目標とする街並み』 『まちづくりの心得』
『地区内の景観資源』 『まちづくりの作法』

という項目を設定し、各地区の景観形成における基本的な指針と、良好な景観形成のための具体的な方法等を示しています。

→内容に関しては、**法的な拘束力・強制力はありません**。あくまでも地区の皆さんが協力し、ご自分の意志で、目標とする街並みの実現に向けて行動するものです。

【使い方は？】

- 建築物や工作物、広告物などをつくる際に、各地区のガイドラインの内容を参考にしながら、周辺環境に配慮した事業の企画構想、設計、施工、維持管理を行って下さい。
- 地区の方々に今後のまちづくりの方向性を確認したり、様々な人に周知したりする際の道具のひとつとしてご活用下さい。

2 日光市街並形成ガイドラインの構成と見かた

「全地区共通ガイドライン」と「地区別ガイドライン」の大きく2つに分類されます。

全地区共通ガイドライン

日光市全体または各地区の景観づくりを考える際に、最低限、配慮していききたい事項や共通して大切にしていきたい事項

地区別ガイドライン（6地区）

全地区共通の項目を踏まえた上で、各地区の地域特性を活かし、より個性豊かな魅力と美しい景観づくりを考える際に、配慮していききたい事項や大切にしていきたい事項

ガイドラインは、各地区とも以下のような項目で構成されています。

◆目標とする街並み

→地区の皆さんが描く街並みの将来像。
地域特性を捉えた街並み全体のイメージを表現したものです。

◆地区の景観資源

→景観づくりを考える上で、各地区で大切にしていきたい地域資源。
地域の魅力向上のための活かし方、見せ方を考えていきます。

◆まちづくりの心得

→「目標とする街並み」を実現するための地区の皆さんの行動指針。
地区の現状を踏まえ、目標に向かう方向性を示したものです。

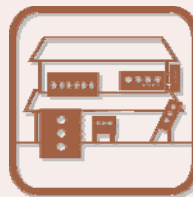
◆まちづくりの作法

→「目標とする街並み」を実現するための、様々な具体的方法。
街並みを形づくる6つの項目について、色や形、大きさや高さ、素材、位置、その他見せ方の工夫など、地域特性の尊重や周辺環境との調和に配慮したつくり方を示しています。



建物

外壁や屋根の色、高さ、素材、デザイン、開口部やエントランスのつくり方 など



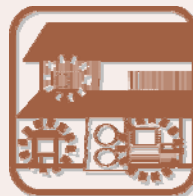
看板やサイン

広告物の種類、色や高さ、設置場所、地域固有のモチーフやイメージカラーの活用 など



建物・敷地のまわり

敷地・建物・道路の関係、塀や柵のつくり方、庭先・店先・玄関先の演出 など



工作物や駐車場など

見せない工夫
目立たせない工夫
美しく見せる工夫
など



照明

照明の色や照らし方、照明器具の素材や設置位置、建物内のあかり など



その他

ユニバーサルデザインの活用、季節のうつろいの演出 など

3 日光市街並形成ガイドライン

ここでは、全地区共通及び各地区のガイドラインを、

「目標とする街並み」と「まちづくりの心得」の一覧で示しています。
詳しくは各地区のガイドラインのページを参照して下さい

<全地区共通>

- 心得1 魅力的な景観資源を尊重した街並みをつくりましょう
- 心得2 豊かな自然と調和する街並みをつくりましょう
- 心得3 細やかな心づかいが行き届いた街並みをつくりましょう
- 心得4 誰もが快適に歩けるまちをつくりましょう

<今市市街地地区> 多様な魅力あふれるゲートタウンの街並み

- 心得1 日光連山や杉並木、参道の景観を尊重しましょう
- 心得2 中心市街地としてにぎわいある商業景観をつくりましょう
- 心得3 ゆとりと落ち着きのある生活空間を創出しましょう

<日光市街地地区> 門前町を感じさせる風格とにぎわいのある街並み

- 心得1 聖域の門前町として落ち着きある街並みをつくりましょう
- 心得2 歩いて楽しい、にぎわいの門前町を演出しましょう
- 心得3 地域固有の伝統文化を大切にしましょう

<鬼怒川温泉地区> 風光明媚な自然と調和した賑わいある湯の郷の街並み

- 心得1 鬼怒川の美しい渓谷の魅力を高めましょう
- 心得2 街並みと山並みとの調和に配慮しましょう
- 心得3 そぞろ歩きが楽しめる賑わいの温泉街をつくりましょう

<川治温泉地区> おもてなしの心が息づく湯の郷の街並み

- 心得1 歴史ある湯治場の雰囲気演出しましょう
- 心得2 歩いて楽しめる温泉街を演出しましょう
- 心得3 水を活かした美しい景観をつくりましょう

<足尾地区> 連綿と続く鉾都の歴史を継承する街並み

- 心得1 足尾の歴史を今に伝える産業遺産や建築物を活かしましょう
- 心得2 穏やかで、落ち着きのある街並みの表情をつくりましょう
- 心得3 足尾特有の素材感で鉾都の魅力を伝えましょう

<湯西川温泉地区> 平家の郷の歴史が感じられる湯の郷の街並み

- 心得1 湯西川の歴史と自然を尊重しましょう
- 心得2 落ち着きある、くつろぎの沿道空間を演出しましょう
- 心得3 「和」の街並みと調和した美しい夜景を演出しましょう

全地区共通

◆まちづくりの心得

- 心得1 魅力的な景観資源を尊重した街並みをつくりましょう
- 心得2 豊かな自然と調和する街並みをつくりましょう
- 心得3 細やかな心づかいが行き届いた街並みをつくりましょう
- 心得4 誰もが快適に歩けるまちをつくりましょう

◆まちづくりの作法

- 作法1 建物の外壁や屋根は、低彩度の色としましょう
- 作法2 街並みに調和した看板やサインをつくりましょう
- 作法3 季節の移ろいが感じられる身近なみどりを増やしましょう
- 作法4 工作物などは、見えないよう、または、美しく見えるように工夫しましょう
- 作法5 空地や駐車場などは、美観維持と街並みとの調和に努めましょう
- 作法6 電球色の光源やろうそくの灯りなど、温かみのある光で演出しましょう
- 作法7 ユニバーサルデザインを積極的に取り入れましょう
- 作法8 わかりやすい案内板やまち歩きマップをつくりましょう

※各地区のガイドラインと併せてご活用下さい。

◆目標とする街並み

日光市では、

【将来の都市像】

四季の彩りに 風薫る ひかりの郷

～自然と歴史と産業が響き合う ころ豊かな輝く未来へ～

(日光市総合計画:平成20年3月)

【景観に対しての基本姿勢】

歴史・文化や自然環境を活かした景観づくり

観るけしきから感じるけしきづくり

(日光市景観計画:平成20年3月)

という目標を掲げ、計画的なまちづくりに取り組んでいます。

◆まちづくりの心得 ～「目標とする街並み」を実現するための地区の皆さんの行動指針～

心得1

魅力的な景観資源を尊重した街並みをつくりましょう

四季の彩りが美しい自然や名勝、長い歴史に培われてきた伝統・文化を感じさせる雰囲気などは、日光市が誇る魅力的な地域資源です。

このように地域で育まれた景観資源を尊重し、周辺環境と調和した街並みづくりを進めましょう。

心得2

豊かな自然と調和する街並みをつくりましょう

日光の山々は、四季の変化により様々な表情を魅せます。この表情豊かな自然をより身近に感じ、また、背景となる自然と街並みとが調和した、魅力的な街並みを目指しましょう。

心得3

細やかな心づかいが行き届いた街並みをつくりましょう

建物や看板、背景となる自然だけでなく、自動販売機・建築設備・ごみ箱・掲示板などの工作物や、空地・駐車場・資材置場などの空間も街並みを構成する重要な要素です。これら街並みの細部にまで行き届いた心づかいで、より魅力的な街並みを目指しましょう。

心得4

誰もが快適に歩けるまちをつくりましょう

多くの人が訪れる日光市には、家族連れや高齢者、障害を持った方など、あらゆる人が安心して快適に活動できる環境が望まれます。また、日光市においても高齢化が進んでおり、住民の普段の生活を支える設備・環境を整えることも必要です。そこで、来訪者も住民も、誰もが快適に歩けるまちを目指しましょう。

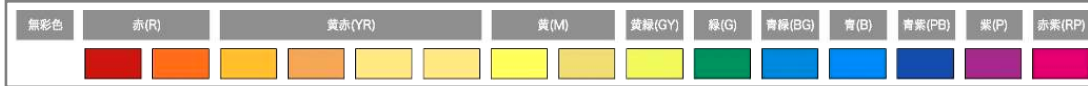


作法1 建物の外壁や屋根は、低彩度※1の色としましょう

■避けるべき色彩と積極的に活用したい色彩

魅力的な地域資源を尊重するため、建物の外壁や屋根などの大きな面積を占める部分については、以下の①に例示するような高彩度の色はできるだけ避け、②に例示するような低彩度の色を積極的に活用しましょう。

【① 避けるべき高彩度色の例】



【② 積極的に活用したい低彩度色の例】

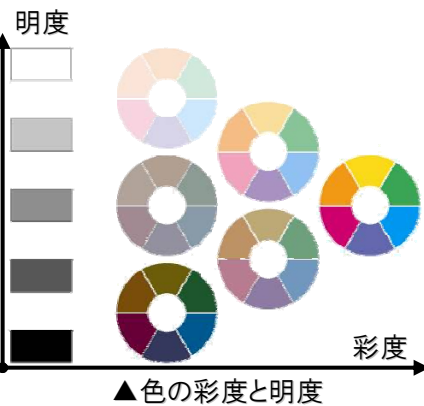


※1【参考】色彩とイメージについて

色を表す尺度の1つに、鮮やかさの度合いを表す「彩度」というものがあります。

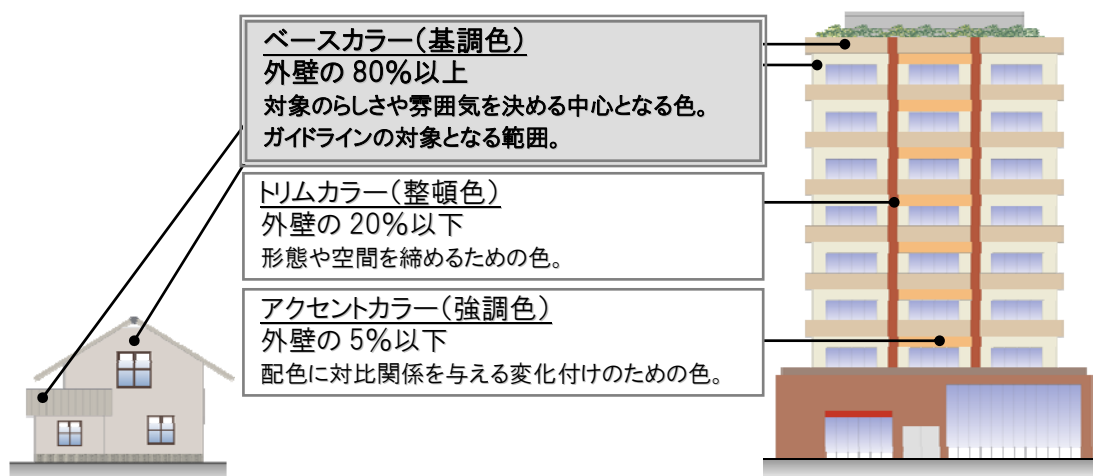
一般に、高彩度の色彩については、【強い・派手・活動的・一時的】などのイメージがあるとされています。誘目性が高く、目立たせる色として、交通標識や祭事の色彩、公共サイン等に用いられることがあります。

一方、低彩度の色彩については、【弱い・地味・沈静的・長期的】などのイメージがあるとされています。周囲の色と馴染みやすく、路面舗装やデッキ・橋、ストリートファニチャー等に用いられることがあります。



■ 建物における配色

建物や工作物の印象は、使用される色彩やその面積・部位などに大きく左右されるため、建物等の壁面などで大きな面積を占める色（ベースカラー）の選択が重要となります。



【注意点】上記で示している色を実際に建物等に活用する際、素材や塗装によって違いが出るため、見え方が異なる場合があります。

【注意点】色を決める場合には、小さな範囲だけで判断するのではなく、近くで見ること、遠くから見ることを想定しながら、専門家等の意見を参考にするなど、慎重に選択しましょう。



作法 2 街並みに調和した看板やサインをつくりましょう

■建物等のデザインとの調和

看板やサインについては、各地区のガイドラインで設定されている建物等のデザイン、つくり方を参考にし、色や素材に同じもの、似たものを用いるなど、建物と調和したつくり方としましょう。

■わかりやすい集合看板

まちなかには、数多くの看板やサインが設置されています。それぞれが目立たせようと色や形態などを工夫し、様々な場所に設置していますが、歴史ある日光らしい雰囲気や風情、美しい自然景観を損ねているものも少なくありません。また、無秩序に設置されることで、看板類の掲示内容がわかりにくくなっている場合もあります。

そこで、多くの広告物が設置されるような場合には、近隣の店舗や宿泊施設など事業者同士で協力し、わかりやすく、見た目にも美しい集合看板としましょう。



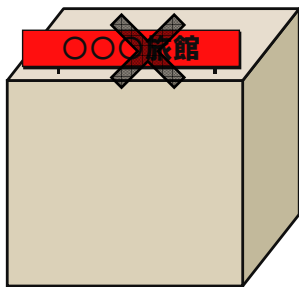
◀集合看板の例

■避けたいつくり方

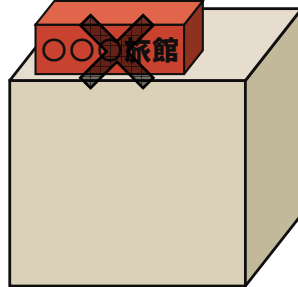
【屋上広告物】

日光市は、周囲を四季の彩り豊かな山々に囲まれています。街並みの背景となる山々への眺望に配慮し、屋上広告物の設置は避けましょう。

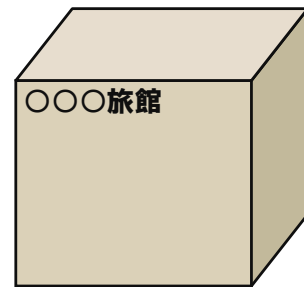
建物上層部分への広告物は、建物と一体的なデザインとするよう努めましょう。



▲屋上広告板



▲屋上広告塔



▲壁面を直接下地にした広告物

【光源の点滅や電光掲示物、蛍光塗料】

発光や光源の点滅は、非常に誘目性が高く、看板やサインとしての役割を高める手段として有効ですが、それらが、無秩序に街並みの中に設置されることで、照明等で演出された夜景の美しさが損なわれることがあります。

サインそのものが強い光を放つようなつくり方は避け、例えば、温かみのある光源で間接的に看板等を照らすなど、建物デザインや夜景の演出との調和に配慮したつくり方としましょう。

【道路にはみ出す・歩行者等の妨げになる】

看板やサインの大きさ・設置位置については、道路にはみ出したり、歩行者等の通行の妨げになるようなつくり方は避けましょう。

【注意点】看板やサインの設置に際しては、『日光市屋外広告物条例』及び『日光国立公園日光地域管理計画書』、『日光国立公園鬼怒川栗山地域管理計画書』の内容を遵守した上で、街並形成ガイドライン及び民間サイン基準をご活用下さい。



作法3 季節の移ろいが感じられる身近なみどりを増やしましょう

■さまざまな身近なみどり

【沿道のみどり】



▲街並みに緑の連続性と四季折々の彩りを添えます。

【垣・柵を活用したみどり】



▲みどり豊かな住環境をつくれます。

【店先・玄関先のみどり】



▲植栽による演出で、季節感のあるおもてなしの空間づくりができます。

■周囲の自然との調和



▲周囲の山や河川に自生する樹種を街並みの中に取り入れることで、周囲の自然との一体感が高まります。

■日光市で見られる美しい樹種

以下に樹種の一例を示します。隣家に植えられている植物や、裏山に生えている植物なども参考にしながら、周囲と調和のとれた緑化を行っていきましょう。

【花の美しい樹種】

高木	ヤマザクラ、ウワミズザクラ、ソメイヨシノ、ウメ、エゴノキ、キブシ、シモツケ、ミズキ、マンサク、ナツツバキ、リョウブ 等
低木	サツキ、レンゲツツジ、ヤマツツジ、シモツケ、ユキヤナギ、ヒュウガミズキ 等

【実の美しい樹種】

高木	イチイ、ナナカマド、ムラサキシキブ、ニシキギ 等
低木	センリョウ、マンリョウ、アオキ、ナンテン 等

【紅葉の美しい樹種】

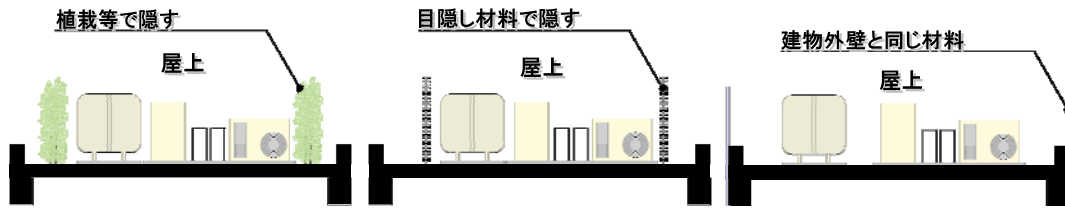
高木	イロハカエデ、イタヤカエデ、ハウチワカエデ、カツラ、カマツカ、カラマツ、コナラ、ニシキギ、ナナカマド、ミズキ、ミズナラ、コシアブラ 等
低木	ドウダンツツジ、オタフクナンテン、ヒュウガミズキ 等



作法 4

工作物などは、見えないよう、
または、美しく見えるように工夫しましょう

■景観に配慮した工作物の設置方法



▲建物屋上に設置された設備関係をまとめて囲って意匠的に隠している事例



▲室外機が建物と調和したデザインの柵に覆われている例



▲自動販売機が建物と一体的なデザインの囲いで覆われている例



▲ゴミ置場が、中が見えないように街並みとの調和に配慮した素材で扉を設けた例



▲防災設備が街並みと調和したデザインとなっている例

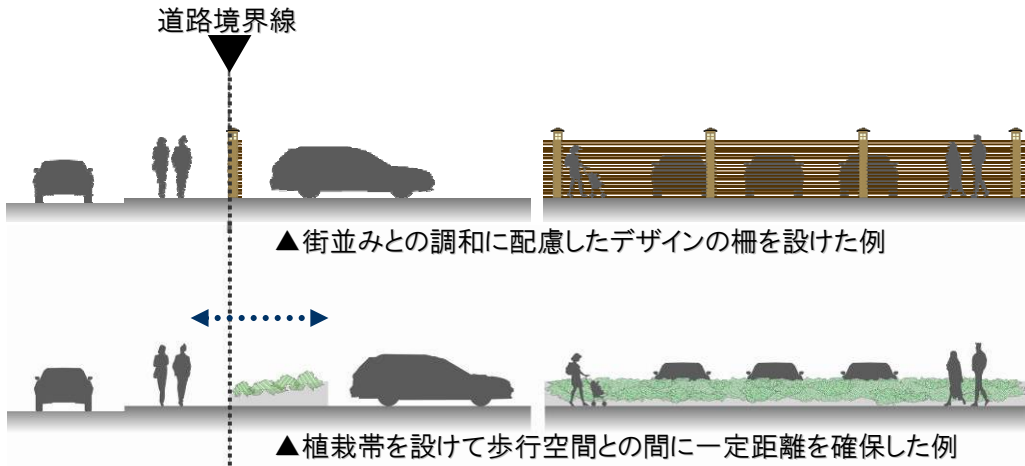


作法 5

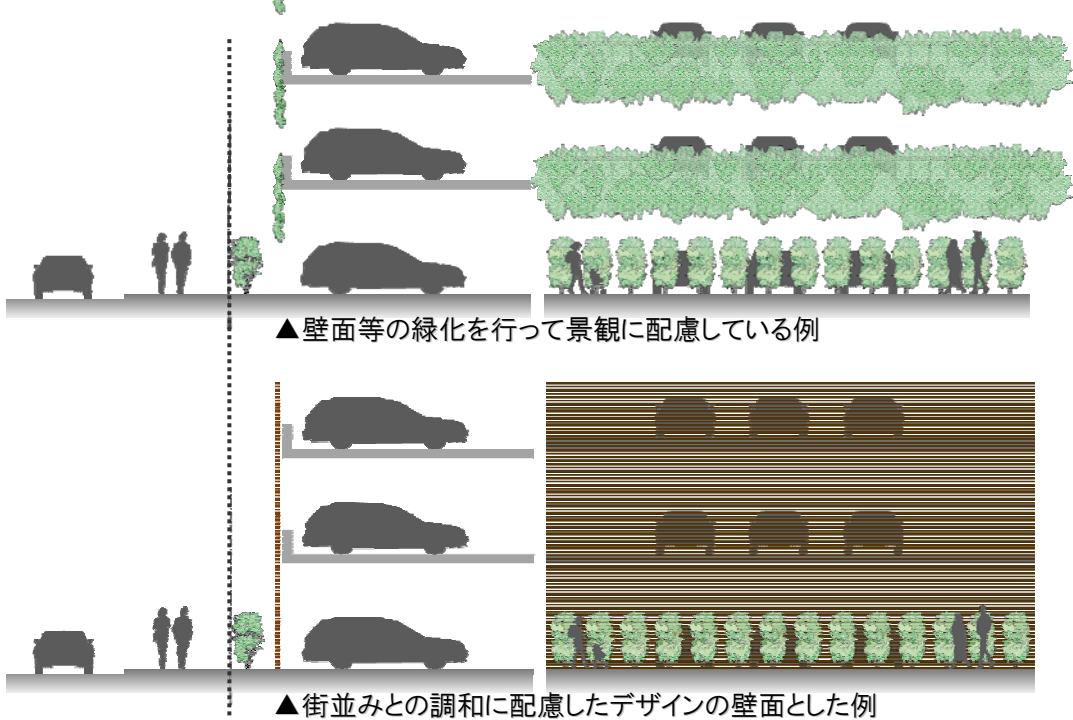
空地や駐車場などは、 美観維持と街並みとの調和に努めましょう

■駐車場のしつらえ方のイメージ

【平置き駐車場の場合】



【立体駐車場の場合】



▲街並みとの調和に配慮した柵が設けられている例



▲車が駐車していない時の景観にも配慮した緑化駐車場の例



作法 6

電球色の光源やろうそくの灯りなど、 温かみのある光で演出しましょう

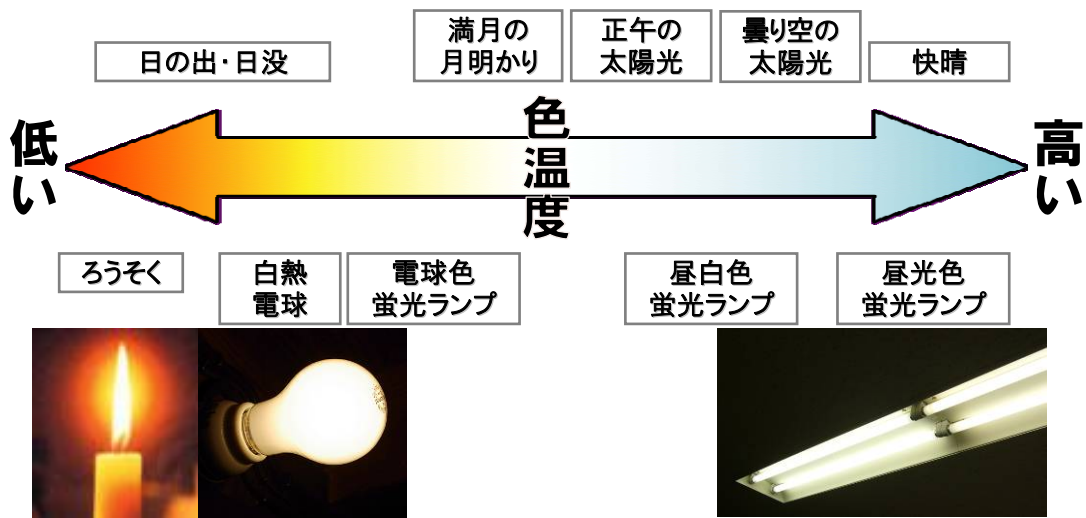
■温かみのある光

街並みを彩る光は、道路照明や歩行者のための足元灯、店先や玄関先を照らす明かり、建物内から外へ漏れる明かりなど、多種多様です。これら街並みの光の色や量、照らし方などをコントロールすることで、魅力的な光の景観がつけられます。

照明については、電球色の光源やろうそくの灯りなど、色温度*が低い光で演出することで、日光の歴史ある街並みの魅力をより高める、やわらかで温かみのある雰囲気をつくりましょう。

※【参考】色温度について

ある光源が発している光の色を表現する尺度として、「色温度」というものがあります。暖かさを感じさせる赤や黄などの暖色系の光は、色温度が低く、ろうそくの灯りや電球の光、日の出・日没の太陽光などがそれに当たります。



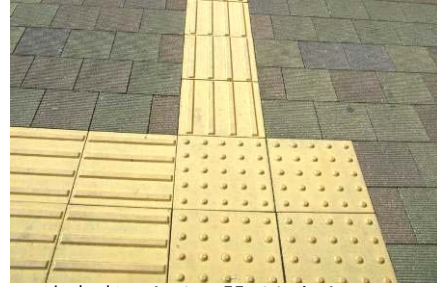


作法 7 ユニバーサルデザイン※を積極的に取り入れましょう

■まちの中のユニバーサルデザイン



▲階段に設けられたスロープ・手すり



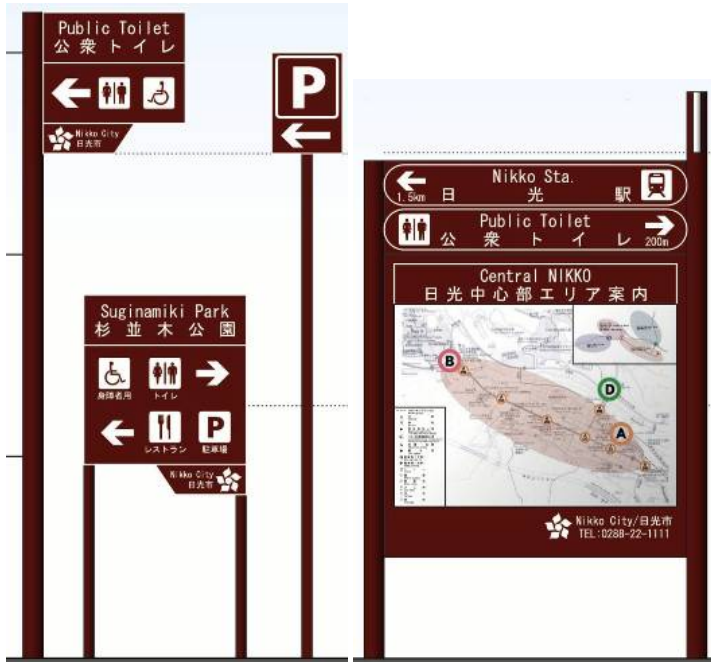
▲障害者のために設けられた点字ブロック

※【参考】ユニバーサルデザインについて

- | | |
|-----------------------|-----------|
| 1. 誰でも使えて手にいれることができる… | 【公平性】 |
| 2. 柔軟に使用できる …………… | 【自由度】 |
| 3. 使い方が簡単にわかる …………… | 【単純性】 |
| 4. 使う人に必要な情報が簡単に伝わる… | 【わかり易さ】 |
| 5. 間違えても重大な結果にならない… | 【安全性】 |
| 6. 少ない力で効率的に、楽に使える… | 【省体力】 |
| 7. 使うときに適当な広さがある… | 【スペースの確保】 |



作法 8 わかりやすい案内板やまち歩きマップをつくりましょう



▲ピクトグラム※や英語表記を用いたわかりやすい案内板
(日光市公共サイン計画より)



▲まち歩きマップ
(イメージ例)

※【参考】ピクトグラムとは

何らかの情報や注意を示すために表示される視覚記号（サイン）の一つで、伝えたい概念を単純な図で表現したものです。主に公共空間で使用され、文字の代わりに視覚的な図で表現することで、言語に制約されずに内容の伝達を直感的に行うことができます。